

平成30年度e・アンケートモニター
第2回アンケートNo.1 調査結果
テーマ「海洋ごみ対策について」

I 調査の概要

1 調査の目的

県では平成23年9月に「山口県海岸漂着物対策推進地域計画」を策定し、市町、民間団体等や住民・ボランティアとの連携・協力のもと、海洋ごみ対策を展開しているところです。
この調査により、県民の皆さんの海洋ごみへの関心度、海洋ごみ対策の取組状況、必要な普及啓発事業等を把握し、今後の施策推進のための参考とします。

2 調査実施期間

平成30年9月6日(木)～9月20日(木)

3 調査対象

平成30年度e・アンケートモニター 97人

4 回答状況

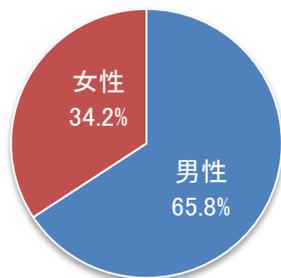
回答者 73人(回答率 75.3%)

5 調査担当課

山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課

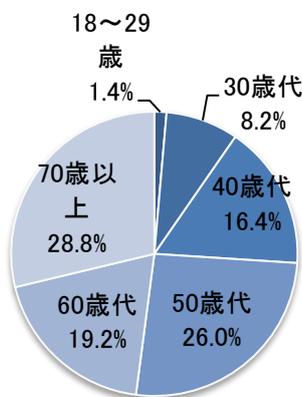
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	48	65.8
女性	25	34.2
計	73	100.0

■年代別



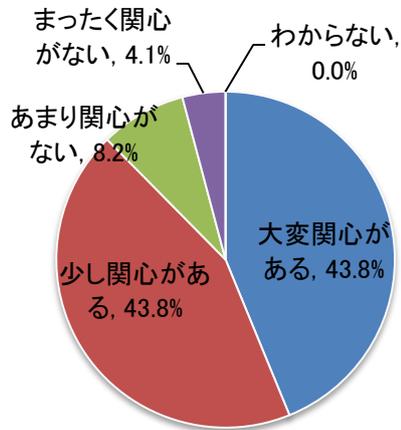
区分	人数	%
18～29歳	1	1.4
30歳代	6	8.2
40歳代	12	16.4
50歳代	19	26.0
60歳代	14	19.2
70歳以上	21	28.8
計	73	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

Ⅲ 調査結果

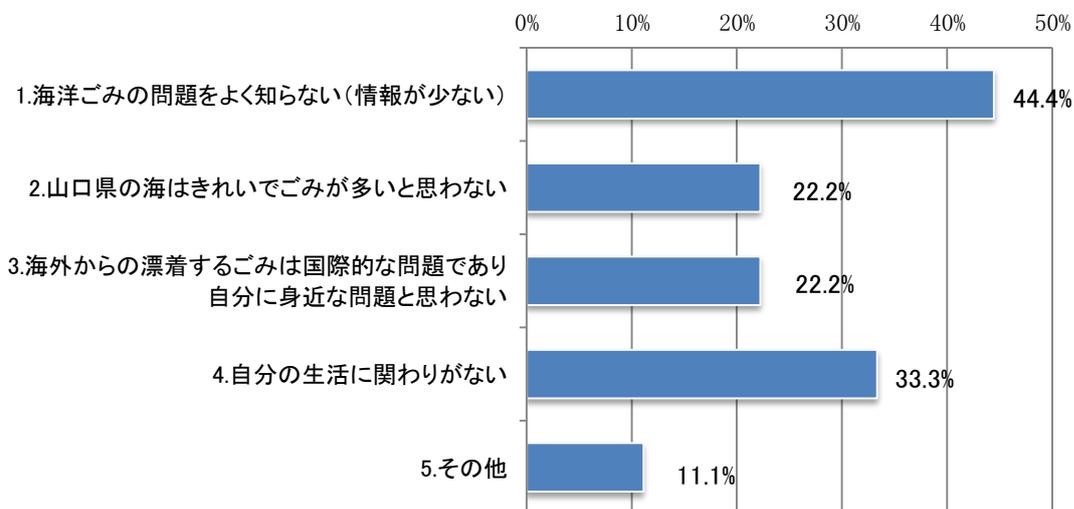
【海洋ごみ問題への関心度について】

Q 1 あなたは、海洋ごみの問題に関心はありますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
大変関心がある	32	43.8
少し関心がある	32	43.8
あまり関心がない	6	8.2
まったく関心がない	3	4.1
わからない	0	0.0
計	73	100.0

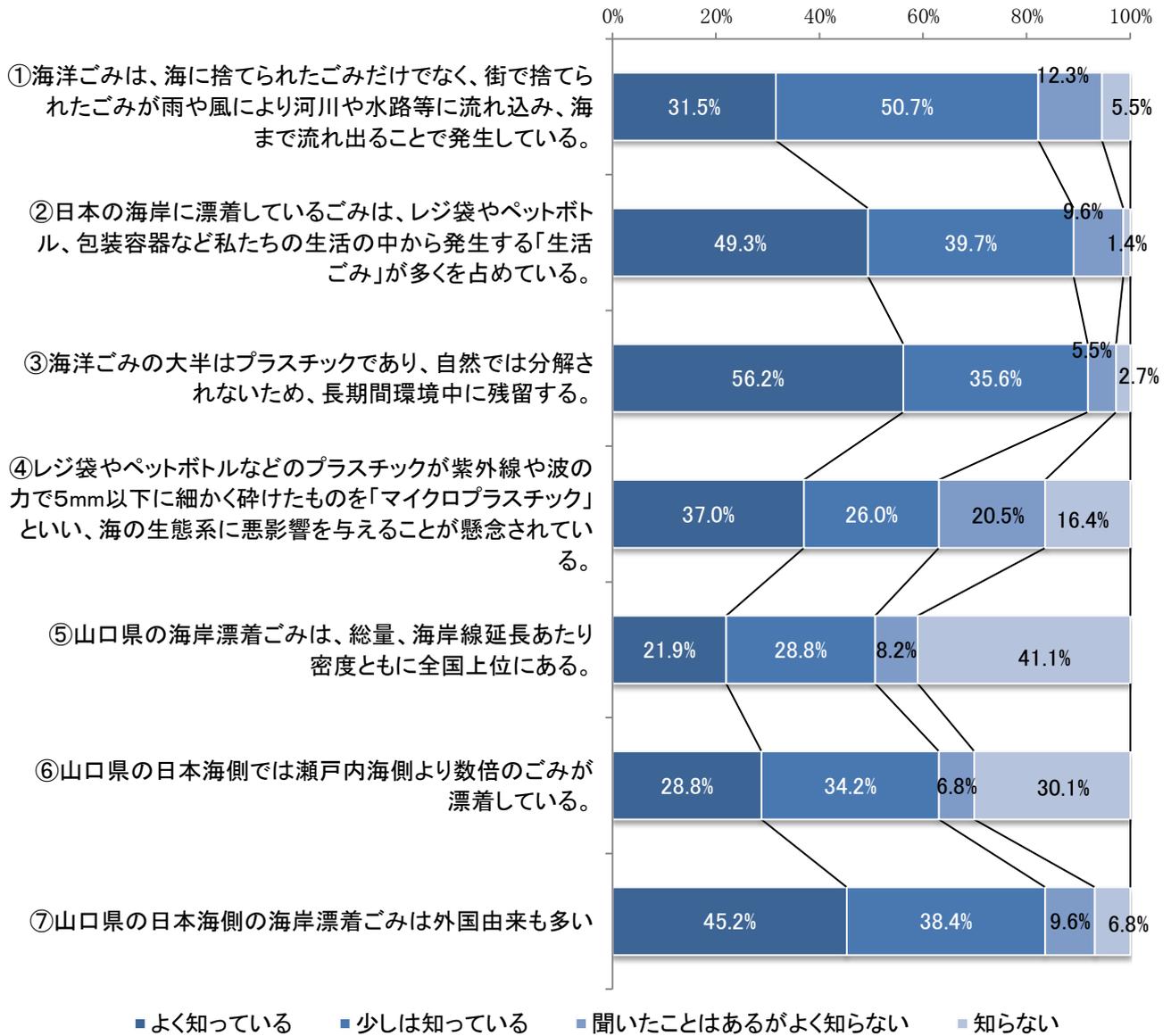
Q 2 Q 1で、「あまり関心がない」または「全く関心がない」と答えた方のみ関心がない理由は何ですか。(2つまで)



選択肢	人数	%
1. 海洋ごみの問題をよく知らない(情報が少ない)	4	44.4
2. 山口県の海はきれいでごみが多いと思わない	2	22.2
3. 海外からの漂着するごみは国際的な問題であり自分に身近な問題と思わない	2	22.2
4. 自分の生活に関わりがない	3	33.3
5. その他	1	11.1

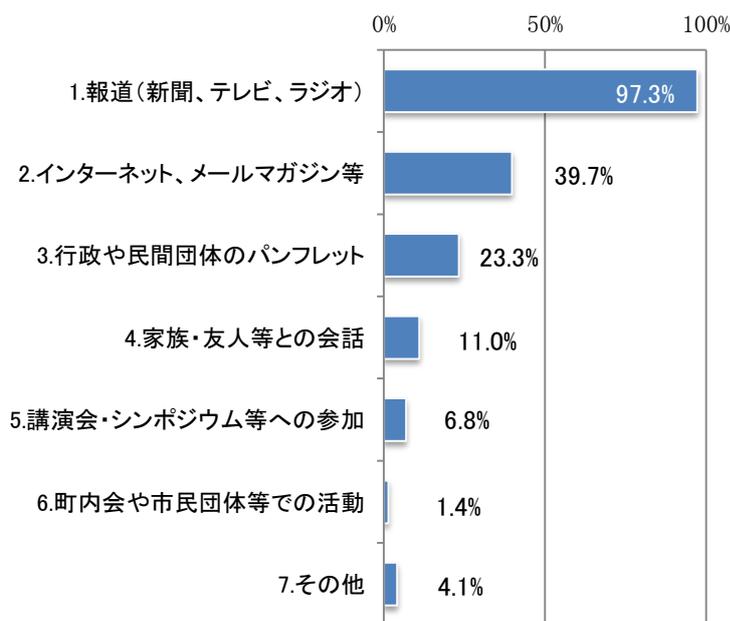
(回答対象者9人)

Q3 次の海洋ごみの現状について、どの程度ご存知ですか。(それぞれ1つずつ)



選択肢	人数				%			
	よく知っている	少しは知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	よく知っている	少しは知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない
①	23	37	9	4	31.5	50.7	12.3	5.5
②	36	29	7	1	49.3	39.7	9.6	1.4
③	41	26	4	2	56.2	35.6	5.5	2.7
④	27	19	15	12	37.0	26.0	20.5	16.4
⑤	16	21	6	30	21.9	28.8	8.2	41.1
⑥	21	25	5	22	28.8	34.2	6.8	30.1
⑦	33	28	7	5	45.2	38.4	9.6	6.8

Q 4 あなたは、海洋ごみに関する知識や情報を何から得ていますか。(3つまで)

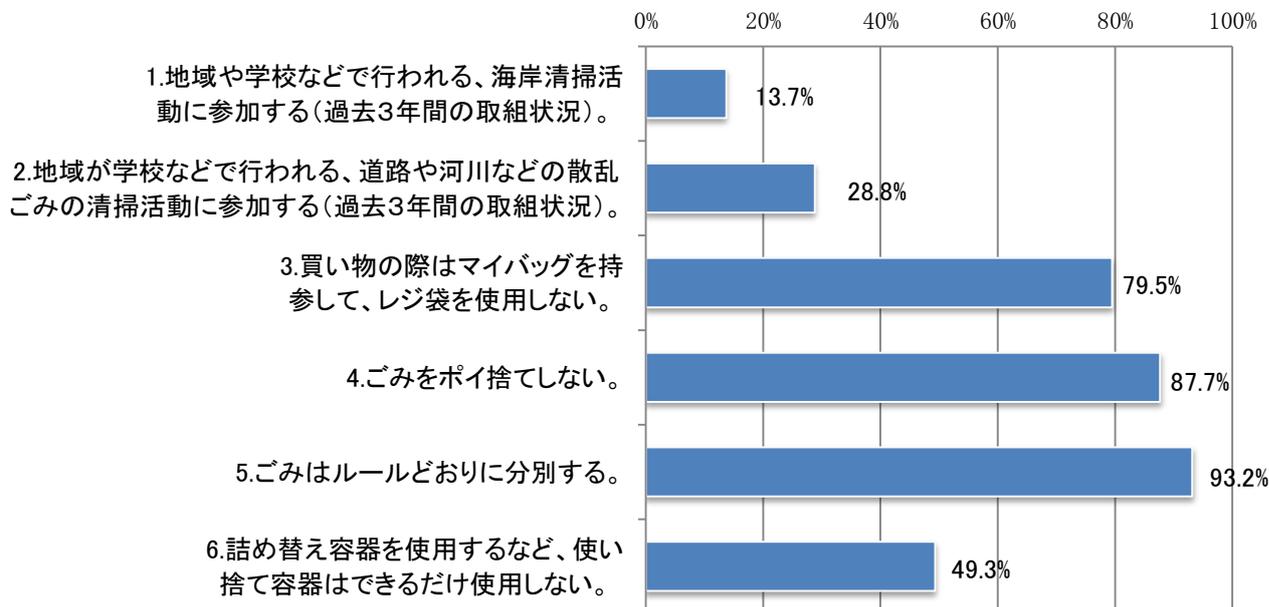


選択肢	人数	%
1.報道(新聞、テレビ、ラジオ)	71	97.3
2.インターネット、メールマガジン等	29	39.7
3.行政や民間団体のパンフレット	17	23.3
4.家族・友人等との会話	8	11.0
5.講演会・シンポジウム等への参加	5	6.8
6.町内会や市民団体等での活動	1	1.4
7.その他	3	4.1

(複数回答)

【海洋ごみ対策の取組状況について】

Q 5 海洋ごみ対策に有効とされている次の取組の中で、実践されていることを選んでください。(いくつでも)



選択肢	人数	%
1.地域や学校などで行われる、海岸清掃活動に参加する(過去3年間の取組状況)。	10	13.7
2.地域が学校などで行われる、道路や河川などの散乱ごみの清掃活動に参加する(過去3年間の取組状況)。	21	28.8
3.買い物の際はマイバッグを持参して、レジ袋を使用しない。	58	79.5
4.ごみをポイ捨てしない。	64	87.7
5.ごみはルールどおりに分別する。	68	93.2
6.詰め替え容器を使用するなど、使い捨て容器はできるだけ使用しない。	36	49.3

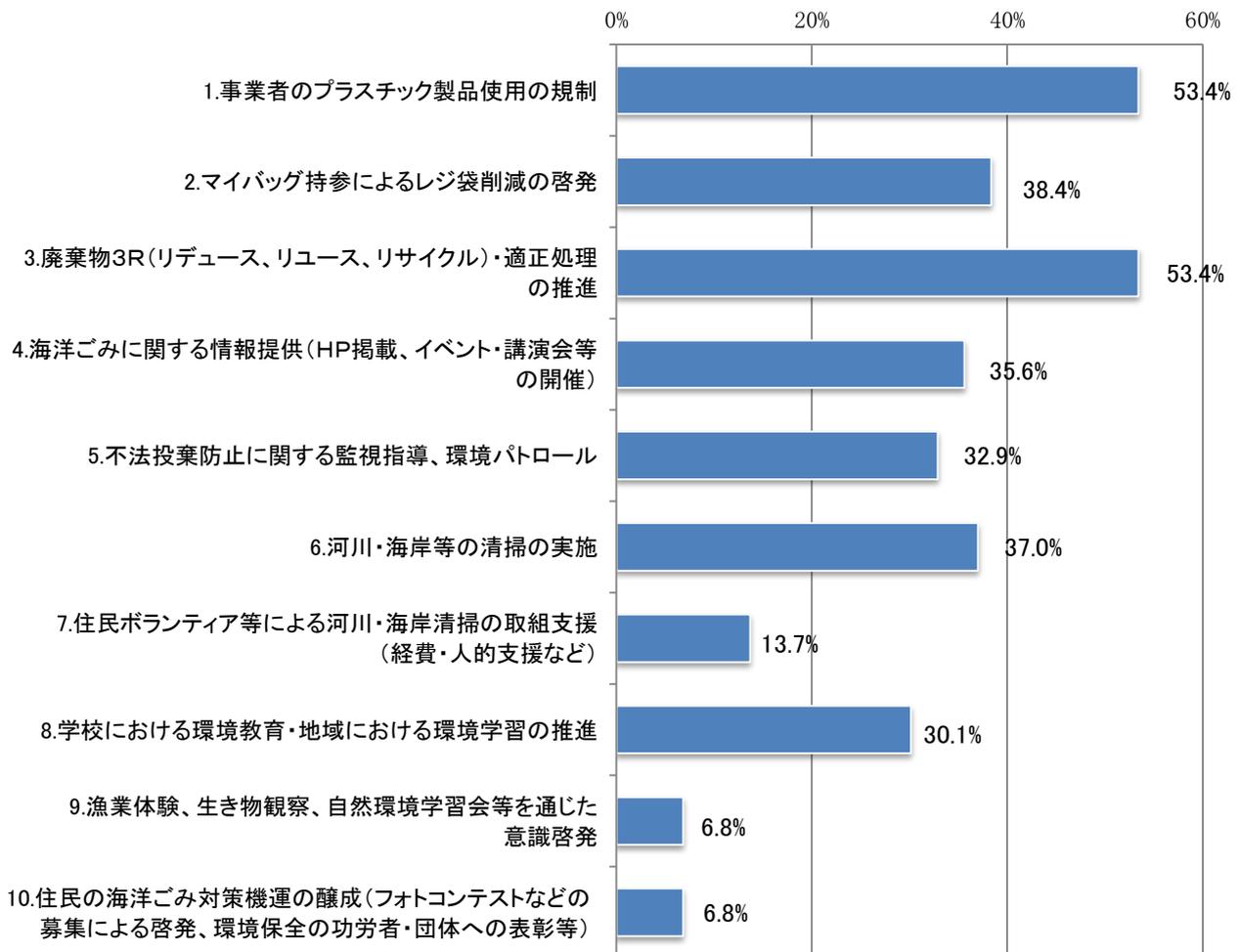
(複数回答)

Q6 Q5のほか、海洋ごみ対策として意識していることや取り組んでいることがあれば、記載してください。（自由記入、全角300字以内）

省略

【海洋ごみ対策の今後の方向性について】

Q7 海洋ごみ対策の次の取組のうち、効果的であると思うものを選んでください。（3つまで）



選択肢	人数	%
1.事業者のプラスチック製品使用の規制	39	53.4
2.マイバッグ持参によるレジ袋削減の啓発	28	38.4
3.廃棄物3R(リデュース、リユース、リサイクル)・適正処理の推進	39	53.4
4.海洋ごみに関する情報提供(HP掲載、イベント・講演会等の開催)	26	35.6
5.不法投棄防止に関する監視指導、環境パトロール	24	32.9
6.河川・海岸等の清掃の実施	27	37.0
7.住民ボランティア等による河川・海岸清掃の取組支援(経費・人的支援など)	10	13.7
8.学校における環境教育・地域における環境学習の推進	22	30.1
9.漁業体験、生き物観察、自然環境学習会等を通じた意識啓発	5	6.8
10.住民の海洋ごみ対策機運の醸成(フォトコンテストなどの募集による啓発、環境保全の功労者・団体への表彰等)	5	6.8

(複数回答)

Q 8 今後、海洋ごみの発生抑制対策を推進するため、どのようなことに取り組んだら良いと思いますか。
(自由記入、全角300字以内)

省略